

M法により運行不可能となる常備用水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車(CD-I型)1台及び経年劣化が著しい指揮車1台を更新

◆議案第10号 消防ポンプ自動車(CD-I型)の購入 車両の老朽化に加え、自動車NOx・PM法により運行不可能となる非常備用消防ポンプ自動車(CD-I型)2台を更新

◆議案第11号 平成22年度野田市一般会計補正予算(第1号)

◆議案第12号 平成22年度野田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

◆議案第13号 平成22年度野田市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

◆議案第14号 平成22年度野田市老人保健特別会計補正予算(第1号)

◆議案第15号 平成22年度野田市用地取得特別会計補正予算(第1号)

◆議案第16号 平成22年度野田市介護保険特別会計補正予算(第1号)

◆議案第17号 平成22年度野田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◆認第1号 平成21年度野田市

一般会計歳入歳出決算認定

◆認第2号 平成21年度野田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

◆認第3号 平成21年度野田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

◆認第4号 平成21年度野田市老人保健特別会計歳入歳出決算認定

◆認第5号 平成21年度野田市用地取得特別会計歳入歳出決算認定

算認定

◆認第6号 平成21年度野田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定

◆認第7号 平成21年度野田市次木親野井特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定

◆認第8号 平成21年度野田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

◆認第9号 平成21年度野田市水道事業決算認定

認定

◆認第6号 平成21年度野田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定

◆認第7号 平成21年度野田市次木親野井特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定

◆認第8号 平成21年度野田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

◆認第9号 平成21年度野田市水道事業決算認定

## 平成21年度行政改革効果

### 安全安心 市民サービス向上と メールなど

# 約5・3億円の経費削減も

限られた財源の中で、市民のニーズにあったサービスを向上させようと、市では「行政改革大綱」と「集中改革プラン」に基づき、市民課窓口の日曜日開設や、防犯や防災情報などを携帯電話に配信する「まめメール」の開設などに取り組みできました。一方で、指定管理者制度の導入や職員の削減などにも取り組み、平成21年度は約5・3億円の経費を削減することができました。



平日と休日の交代勤務で日曜日に市民課窓口を開設

前計画に引き続き、全庁をあげて行政改革に取り組みました。

具体的には、職員のシフト勤務などで工夫し、少ない予算でサービスを向上しようと、野田市民館の無休化の本格実施や、17年度から試行した市役所市民課窓口の時間延長の継続のほか、21年度からは、安全安心メール「まめメール」の配信、携帯電話専用ホームページの開設、パブリックコメント手続の試行を継続するなど、情報提供や情報公開だけでなく、市民参加の充実にも取り組んできました。

## 徹底した経費削減を

一方で、21年度は、昨今の経済情勢により、市税などの徴収率の低下の影響が大きく、目標額の6億2千万円には届かなかったものの、約5億3千万円の経費を削減することができました。内訳としては、あすなる職業指導所など2施設への指定管理者制度の導入(2千356万8千円減)、文化センターの舞台業務の全面委託(670万6千円減)、し尿収集業務の拡大(716万2千円減)、関宿地域のし尿処理の見直し(1億4千242万7千円減)、職員の削減(2億7千720万円減)、職員の給与の適正化(1億6千545万2千円減)などの取り組みによるものです。

市では今後も、限られた財源の中で市民のニーズにあったサービスの向上に取り組んでいきます。

【問合せ】行政管理課

市では、「行政改革大綱」と「集中改革プラン」に基づき、「徹底した業務の見直しや指定管理者制度の導入、職員削減などで経費の削減を行うとともに、市民のニーズにあったサービス」の提供に努めています。平成16から20年度までの5年間の計画期間内では、約62億円の経費削減だけでなく、市民課

窓口の日曜日開設や夜間窓口の延長、公民館や博物館の開館日拡大などに取り組んできました。少ない予算でニーズに対応。また、昨今の社会情勢の変化に対応していくため、新たに21年度から26年度までの行政改革大綱と集中改革プランを策定し、21年度は新計画の初年度として、